

## 防衛省仕様書改正票

D S P  
Z 8717C(3)

## 警戒旗, 飛行場用

制定 昭和54年12月24日

改正 令和 3年11月29日

(FLAG, SIGNAL)

この改正票は, DSP Z 8717C(警戒旗, 飛行場用)についてのものであり, DSP Z 8717C(2)を含め累積記載されている。この改正票は DSP Z 8717Cと併用される。

1.3 a) 規格中“JIS L 1096 一般織物試験方法”を“JIS L 1096 織物及び編物の生地試験方法”に改める。

原案作成部課等名 を次のとおり改める。

原案作成部課等名:航空自衛隊 補給本部需品部

付表1 を次のように改める。

付表1-旗生地

区分	規定	試験方法
原糸 %	アクリル100(ダル糸)	—
原糸番手	たて よこ 1/20	JIS L 1095 による。
組織	平織	JIS L 1096 のA法による。
幅 m	1.45以上	JIS L 1096 のA法による。
長さ m	50以上	JIS L 1096 のA法による。
質量 g/m <sup>2</sup>	140以上	JIS L 1096 のA法による。
密度 本/2.54 cm	たて よこ 34以上	JIS L 1096 のA法による。
引張強さ N/5 cm	たて よこ 441以上	JIS L 1096 のA法による。
寸法変化率 %	たて よこ ±3	JIS L 1096 のD法による。
色	黄赤 白 NDS Z 8201 の 色番号 2205 さらし	—
染色堅ろう度	耐光 摩擦 洗濯 4級以上	JIS L 0842 の第3露光法による。 JIS L 0849 の摩擦試験機II形の乾燥試験による。 JIS L 0844 のA-2号による。
注記 白地は, 漂白加工を行うものとする。		

## 防衛省仕様書

D S P  
Z 8717C

## 警戒旗, 飛行場用

制定 昭和54. 12. 24  
改正 平成20. 3. 21

(FLAG, SIGNAL)

## 1 総則

## 1.1 適用範囲

この仕様書は、警戒旗, 飛行場用について規定する。

## 1.2 製品の呼び方

製品の呼び方は、表 1 による。

表 1 - 製品の呼び方

製品の呼び方	物品番号
警戒旗, 飛行場用	8345-161-6817-5

## 1.3 引用文書等

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

## a) 規格

J I S L 0 8 4 2 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法

J I S L 0 8 4 4 洗濯に対する染色堅ろう度試験方法

J I S L 0 8 4 9 摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

J I S L 1 0 9 5 一般紡績糸試験方法

J I S L 1 0 9 6 一般織物試験方法

J I S L 2 5 1 1 ポリエステル縫糸

N D S Z 8 0 1 1 角形銘板

N D S Z 8 2 0 1 標準色

## b) 法令

国際民間航空条約(昭和28年条約21)

## 2 製品に関する要求

## 2.1 全般

この製品は、国際民間航空条約第14付属書の規定に基づくものでなければならない。

## 2.2 材料

材料は、表 2 によるほか、付図 1 による。

表 2 - 材料

区分	規定	用途
主材料	付表 1 による。	旗生地, 力布
副材料	綿混紡, 2/1あや織, 番手(たて, よこ)16 <sup>s</sup> , 密度(本/2.5cm間) たて75, よこ55, 白色	通し袋
	綿ひも, 直径3mm, 長さ250mm以上(2本)	旗ひも
	J I S L 2 5 1 1 ポリエステルフィラメントミシン糸 #40(3コード), 白色	縫糸
	#40ブロード, 白色	銘板

## 2.3 加工方法

## 2.3.1 裁断

旗生地は、縦、横方向に直角に裁断するものとする。

## 2.3.2 縫製

縫製は、次による。

## a) 一般要領

- 1) 糸調子、縫い目が優良で、縫いとび及び縫い外れがなく、縫い目曲がりが目立たないものとする。
- 2) 縫い始め及び縫い終りは、完全に返し縫いを行うものとする。
- 3) 針数は、3cm間の表面に現れた縫い目数とし、12針以上とする。

## b) 細部要領

- 1) 旗の縁は、柄を通す側を除く三方を、三つ折り三条縫いとし、仕上がり幅は10mm以下とする。
- 2) 旗生地のはぎ合せは、仕上がり幅8mm以下の折り伏せ縫いとし、付図1による。
- 3) 通し袋の縫い付けは、端を10mm以上折り返し、旗生地を20mm以上挿入して三条縫い以上とする。
- 4) 通し袋の上端は、絞手縫いとし、下端は、旗ひもを縫い付けるものとする。
- 5) 力布の縫い付けは、旗生地の上下端(通し袋側)に二条縫いするものとする。

## 2.3.3 仕上げ

仕上げは糸くずを取り除き、丁寧に仕上げるものとする。

## 2.4 形状・寸法

形状及び寸法は、付図1による。

## 2.5 色

色は付表1を標準とし、5の承認による。

## 2.6 外観

外観は加工方法が優良で、傷、汚れ、その他の欠点が目立たないものとする。

## 2.7 製品の表示

製品の表示は、図1に示す様式の銘板を、付図1に示す位置に縫い付けるものとする。

単位 cm

防 衛 省		8
品 名	警戒旗, 飛行場用	
物品番号	8345-161-6817-5	
納入年度	a)	
契約者	b)	

注記1 枠及び記載事項は、黒でにじみ及び退色しにくいものを用いて鮮明に押印又は印刷するものとする。

注記2 用字及び書体は、NDS Z 8011による。

注記3 寸法は、標準を示す。

注 a) 納入年度を記入する。

例 2008年度

b) 契約の相手方の名称又はその略号を記入する。

図1 銘板

### 3 品質保証

#### 3.1 監督・検査

検査は、契約担当官等の定める監督及び検査実施要領による。

### 4 出荷条件

出荷条件は、次による。

#### 4.1 包装

包装は、商慣習による。

#### 4.2 外装の表示

外装の表示は、外装の見やすい箇所に次の項目を表示する。

- a) 物品番号
- b) 品名(製品の呼び方)
- c) 数量
- d) 納入年月  
    例 2009年3月
- e) 契約の相手方の名称又はその略号

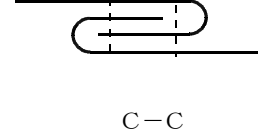
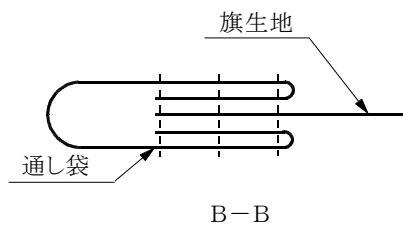
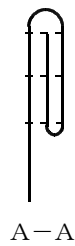
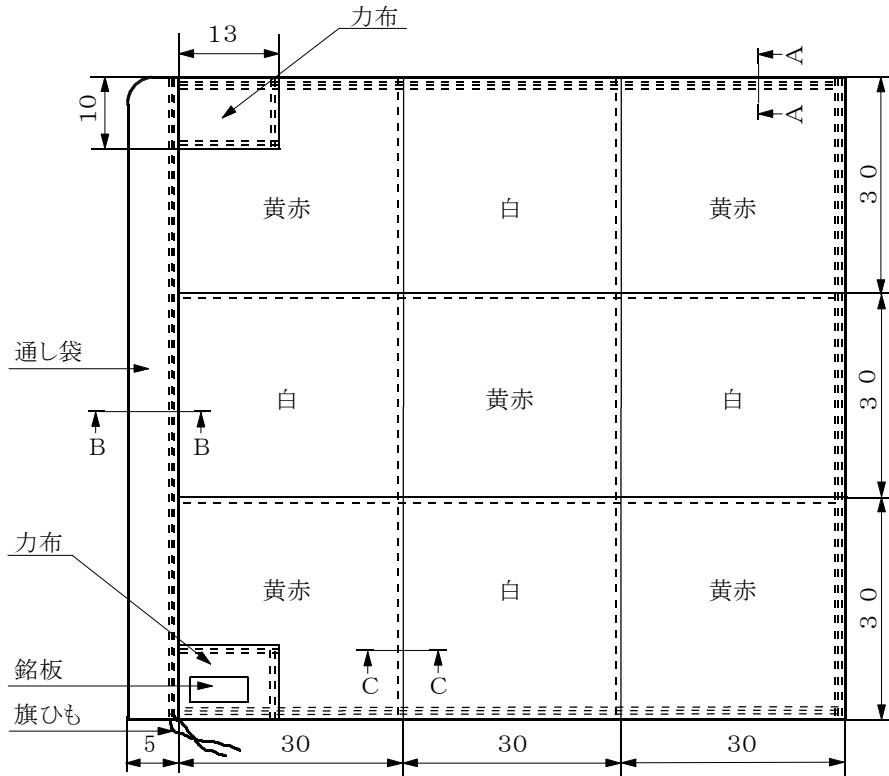
### 5 承認用見本

契約の相手方は、製造に先立ち承認用見本として製品1枚を契約担当官等に提出し、外観及び色について承認を得なければならない。

付表1－旗生地

区分		規定	試験方法
原糸	%	アクリル100(ダル糸)	—————
原糸番手	たて	1/20	J I S L 1 0 9 5による。
	よこ		
組織		平織	J I S L 1 0 9 6による。
幅	m	1.45以上	
長さ	m	50以上	
質量	g/m <sup>2</sup>	140以上	
密度	たて	34以上	
	本/2.54cm よこ		
引張強さ	たて	441以上	
	N/5cm よこ		
寸法変化率	たて	±3	J I S L 1 0 9 6のD法による。
	% よこ		
色	黄赤	N D S Z 8 2 0 1の色番号2205	—————
	白	さらし	
染色堅ろう度	耐光	4級以上	J I S L 0 8 4 2の第3露光法による。
	摩擦		J I S L 0 8 4 9の摩擦試験機Ⅱ形の乾燥試験による。
	洗濯		J I S L 0 8 4 4のA-2号による。
注記 白地は、漂白加工を行うものとする。			

単位 cm



図番	付図 1	名称	警戒旗, 飛行場用	尺度	—
防 衛 省					